

2015年1月16日

関係各位

野村證券株式会社

野村證券、「野村日本株高配当70・米ドルヘッジ指数(ネットトータルリターン)」 の公表を開始

野村證券株式会社(代表執行役社長:永井浩二)は、「野村日本株高配当70・米ドルヘッジ指数(ネットトータルリターン)」の公表を1月15日から開始したと発表した。本指数は、米ドル建てで投資を行う投資家が為替リスクを回避しつつ「野村日本株高配当70の円建てネットトータルリターン指数」に投資する際のパフォーマンスを表す。月末時点の投資残高を1カ月のドル円為替フォワード取引を用いて毎月末ヘッジしたものととして算出される。

2012年に公表された野村日本株高配当70は、国内上場普通株の中から予想配当利回りが高い70銘柄を選んで構成銘柄とする等金額型の指数である。そのネットトータルリターン指数とは、税引後の配当金を指数構成銘柄に再投資した場合のパフォーマンスを表す。本指数では、配当に対する源泉徴収税率として国内非居住者に対する税率を用いており、米ドル建てで投資を行う海外投資家が、為替リスクをヘッジしながら日本株高配当銘柄に集中投資することを容易かつ低コストで実現可能とするように配慮している。本指数に連動する金融商品を組成する際の運用実務に配慮し、本指数は客観的なインデックス構築ルールに基づき、投資可能な株式で構成される。

本指数の算出は野村證券金融工学研究センターが行い、指数値および指数構築ルールは同社証券市場インデックスのウェブ(<http://qr.nomura.co.jp/jp/nhdiv/index.html>)にて公表される。

同社は今後も、本指数に連動する金融商品の開発を通じて、投資家のニーズに沿ったサービスの提供を積極的に展開していく。

以上